

2021年度 第2回 日本診療放射線技師連盟理事会 議事録

日時：令和3年7月10日(土)17:40～19:40

場所：WEB会議

出席者 理事長：芳士戸治義

副理事長：白木尚、丹羽政美、中上康次

理事：木暮陽介、田中功、上田克彦、江藤芳宏、富田博信、児玉直樹  
中村勝、富田伸生、船水憲一、小黒清、山本英雄、高嶋敏光  
茂木大志、廣木昭則、中村泰彦、藤井雅代、江田哲男、松田恵雄  
江端清和、吉川典子

監事：松原馨

参与：畦元将吾

陪席者：加藤京一

委任状出席者 理事：西川祝子

欠席者 理事：麻生智彦、篠原健一、大野肇

監事：奥村雅彦

書記 谷本恵子

【議事】

1. 業務報告・周知事項(報告期間：前回理事会～本日)

1) 活動報告(木暮理事)

- －2021年3月21日(日)：第88回自由民主党大会で表彰
- －2021年3月27日(土)：岸田文雄後援会新春互礼会、自民党広島県連大会に出席
- －2021年3月31日(水)：東京都選挙管理委員会へ届出  
(2020年収支報告書、届出事項等の異動届)
- －2021年4月3日(土)：西田ひでのり(参議院広島県選出議員再選挙候補)  
事務所に陣中見舞い、街頭演説応援
- －2021年4月5日(月)：根本匠シンポジウムに参加
- －2021年4月7日(水)：畦元将吾先生活動報告会開催  
元厚生労働副大臣 橋本岳先生をお迎えして
- －2021年4月9日(金)：第55回林芳正朝食勉強会に参加
- －2021年4月13日(火)：志公会と語る夕べに参加
- －2021年4月14日(水)：小野寺五典政経セミナーに出席
- －2021年4月20日(火)：自見はなこ次世代の医療政策を考える会に参加
- －2021年4月21日(水)：鴨下一郎ランチョンセミナーに参加
- －2021年4月21日(水)：小川かつみ君の更なる飛躍を期する会に参加

- 2021年4月21日(水):岸田文雄議員主催の西田ひでのり候補激励会に参加
- 2021年5月11日(火) 畦元衆議院議員に国政活動支援状提出
- 2021年5月24日(月) 各種団体協議会懇談会に参加
- 2021年6月8日(火) 加藤官房長官との面談(ワクチン接種の協力体制について)
- 2021年6月8日(火) 畦元 将吾 先生 活動報告会開催  
公明党副代表 衆議院議員 斉藤てつお 先生をお迎えして
- 2021年6月14日(月) 厚生労働省へタスクシフト・シェアの要望書提出
- 2021年6月16日(水) 復興庁との面談(正しい放射線の知識について)
- 2021年6月22日(火) 安倍前首相との面談(衆議院選挙及び参議院選挙について)
- 2021年6月25日(金) 山口自民党選挙対策委員長との面談(衆議院選挙について)
- 2021年7月1日(木) 岸田文雄と国政を語る会に参加
- 2021年7月7日(水) 畦元 将吾 先生 活動報告会開催  
自由民主党 衆議院議員 国光あやの 先生をお迎えして
- 2021年7月8日(木) 宏池会と語る会に参加

(公社) 東京都診療放射線技師会会誌に日本診療放射線技師連盟ニュース掲載依頼  
2021 No.2 (通巻 59)、No.3 (通巻 60)、No.4 (通巻 61)、No.5 (通巻 62)  
No.6 (通巻 63)

## 2) 情報システム報告(木暮理事)

- 自民党入党のご案内 3260 人 (2021 年 6 月 15 日付) 掲載
- 日本診療放射線技師連盟ニュースを毎月掲載
- 令和 3 年度第 1 回議事録を掲載
- 会員・決済管理システム導入検討

## 3) 会計報告(木暮理事)

- 連盟会員数は 998 名 (7 月 10 日時点)  
2021 年度の年会費納入状況は 46 件、寄付は 34 件
- 日本診療放射線技師連盟の主な支出は以下の通りである。  
2021 年 3 月 18 日(木): 岸田文雄後援会新春互礼会  
2021 年 4 月 2 日(金): 根本匠シンポジウム  
2021 年 4 月 2 日(金): 志公会と語る夕べ  
2021 年 4 月 2 日(金): 自見はなこ 次世代の医療政策を考える会  
2021 年 4 月 2 日(金): 鴨下一郎 ランチョンセミナー  
2021 年 4 月 2 日(金): 岸田文雄と国政を語る会  
2021 年 4 月 12 日(月): 小野寺五典 政経セミナー

2021年4月19日（月）：小川かつみ君の更なる飛躍を期する会

2021年7月5日（月）：岸田文雄と国政を語る会

2021年7月5日（月）：宏池会と語る会

－政治資金収支報告書を東京都選挙管理委員会に提出した（3月31日）

－監査報告（松原監事）

奥村、松原2名にて令和2年度1月1日～12月31日までの事業並びに財産について監査を行った。令和3年3月31日付で監査報告書を芳士戸理事長に提出したとの報告があった。

#### 4) 国政報告（畦元参与）

日本放射線技師連盟理事の方々に感謝を述べられた。

－現在国会閉会中だが、部会、委員会は行われており、現在会議が開かれている。8月までに来年の補正予算の骨太を決めることになっている。その中で、コロナ禍の今の状況で薬価の点数を下げてはいけない。リクエストの中で我々の勉強会に対する費用など（診療放射線技師のものだけに限らないが）もっと出すべきではないかなど議論している。大まかなところでは高齢者の保険に対する補償や社会保障などである。来年の1月に始まる国会の予算会議のため、今出た予算が欲しいという話は再来年の国会での話になってしまう。早め早めに話を挙げなければならない。

－今年度のタスクシフティングに関する勉強会の補助金に関しては、自治体で出せるかもしれないとの報告があった。来年にはタスクシフティング、その他勉強会に対する補助金の話を出したいが、選挙に勝たなければ難しい。国からも補助をしてもらうこと医師会や看護師会に負けないように放射線技師会も予算をとれるよう頑張っている。

－コロナに関するCTの予算のおかげでCanonから200台、GEから100台ほど売れたという報告があった。2億円ほどの予算が使われている。メーカーから3月締めを伸ばしてほしいとの依頼があったが、来年度に関してもコロナに関するCTの予算は通っており、来年の3月までに納品されればお金が出ることになっている。資金は国が出すが申請決定は自治体となっており、自治体とやり取りをすることになる。自治体と問題が発生した時は畦元が話をすることはできる。CT購入申請時にはコロナ患者のためのCTとして申請するため、患者の動線を考えておく必要があるということであった。

－報告会が議員の中で評判となっており、議員の方から報告会に出してほしいとの申し出も増えてきている。有名な方に講演してもらえれば技師会も沸くのではないかと思っている。選挙前には野田聖子先生や二階先生も講演してもらうことを考えている。

－10月21日に衆議院議員の任期は切れる。比例代表の順位が上位に来れるよう署名運動を技師会でやっていただきたい。現在3万人の診療放射線技師会会員がいるが、その家族を含め6万人、場合によっては10万人近い署名を集めたいと思っている。自

由民主党衆議院広島県比例第一支部“畦元将吾を応援する”ことを署名しますという形であれば、自民党を応援することにご納得されない方も畦元将吾の応援に対しての署名だったら皆さんもご納得できるのではないかと思う。診療放射線技師の将来のために一つ一つ活動していき実現していきたいということを訴え、何とか署名してもらいたい。署名集めに関しては9月中旬が目途となる。また、党员数は引き続き4000名を目指している。畦元が欲しい、畦元は必要な人間だと言ってもらうため、全派閥の長、比例に力を持っている議員事務所へは会長、連盟の支部長と一緒に挨拶に行きたいと思っている。特に山口県、島根県には必ず伺いたい。

とにかく、党员の数と皆さんが畦元を推してくれているということが大事、畦元がいてくれてよかったと思ってもらえるよう頑張るのでぜひ応援をお願いしたい。

#### 5) 日本放射線技師会報告（上田理事）

タスクシフトについて順調に準備できていること、ワクチン接種の協力ができること等を畦元議員から我々の活躍を報告していただいている。

##### ー環境省について

正しい放射線の知識を広めるための診療放射線技師の活用ということを既に様々な事業について検討していただいている。

##### ー復興省について

福島で活用している資料自体を普及してほしいというようなこともある。

##### ー経産省について

原子力発電のことになるが、我々の医療とも結びつけて活動できるようにしていこうと思っている。

畦元議員にいつも応援していただいている。畦元議員がいらっしゃることで、官僚の方なり普段会えない人に会って診療放射線技師の活動を報告できている。

##### ー比例の仕組み（特別枠）について

中国ブロックの自民党議員が当選しないと畦元議員が比例1位であっても3位になってしまうということについて、中国ブロックでは選挙区で落選した方が比例の上の順位になってしまうという仕組みがある。中国ブロックの自民党議員候補の方が確実に当選してもらわなければ畦元議員の順位は落ちてしまう。

署名活動の時に改めてこのような仕組みがあるということをご理解の上、中国地域の方は特に全自民党候補を応援する必要があるということをご具体的に説明しておいた方がよいのではないか。当選確率も違ってくると思う。

白木副理事長：今後の戦略については後程検討させていただく。

国の方と話ができていたとの報告であったが具体的にはまだか。

上田理事：ワクチン接種の活用はすでに経過観察の活用事例も報道にも出ているところで

ある。少しずつ各所で診療放射線技師が出て行くといいかと思う。これに関して加藤官房長官が記者会見で診療放射線技師と間違いなくフルスペルで述べてくれたことが一番嬉しかった。環境省はまだはっきり言えないが、具体的にいろんな活動を依頼されているところである。また報告できるようになったらまたお話ししたい。

## 6) 広島県連報告（中上副理事長）

### －畦元将吾活動報告会について

- ・1回目（4月19日）河合議員失職に伴う参議院広島再選挙に向けて、宏池会の岸田文雄議員に選挙活動する場を設け、岸田議員のために畦元議員が300名集め、広島県の技師はもちろん全国の技師で岸田先生と西田候補を応援していることを言ってもらうのが一つ。二人目のゲスト参議院宮島喜文先生は臨床衛生検査技師会会長でもあるので、選挙や政治活動においては臨床検査技師、診療放射線技師で協力していきましようというのがもう一つの目的でもあった。参加者は300名を超えた。
- ・2回目（6月8日）公明党副代表の斉藤哲夫議員をゲストでお迎えした。次期衆院選で斉藤議員は広島3区から立候補する予定であり、次の衆議院選挙で広島診療放射線技師は斉藤哲夫議員を応援しますので、斉藤議員は畦元議員の比例順位を上げるようにご尽力くださいとのお願いをした。参加者は前回より少し減り245名であった。
- ・3回目（7月7日）茨城6区の国光あやの議員をゲストにお迎えした。国光先生は医師であり、コロナの出口戦略という大変面白い話であった。もちろん本質的には我々が勉強すると同時に次期衆院選において国光議員の2期目の当選に向けて我々頑張りますので先生は比例順位をあげるように尽力してくださいとのお願いでもあった。この時連盟の芳士戸理事長にもご講演いただき連盟の存在意義等大切なことを訴えていただいた。この日は診療放射線技師向けにいろんなイベントが重なってしまったようで参加者は194名と少なかった。

活動報告会の本質は、ゲストの先生に畦元議員のバックには診療放射線技師がこれだけたくさんついているというアピールを第一として、とにかく接続数を維持するように理解していただければと思う。250名から300名を何とか確保するようご協力お願いしたい。

- －新潟県診療放射線技師会理事会にて、政治の大切さ衆議院選挙の仕組み等話をさせてもらった。連盟の会員や後援の自民党員が数人しかいない県には啓蒙活動が必要と思う。なんとか支部担当の方々にセッティングしていただければ、芳士戸理事長と畦元議員と私と3人で1時間くらいの講演をするのでご協力をお願いしたい。

## 2. 審議事項

## 1) 拡散方法の方策案について (芳士戸理事長)

畦元報告会に集まった人だけで盛り上がるのは物足りないと思っている。全国に広がれば技師はいざとなったら団結できると思っている。そのためにはきちんとした情報発信を全国にしていかなければならない。連盟 HP で上げてみてもらうだけでは受け身になってしまうので、こちらから連盟会員の方だけにでも情報発信できるよう準備してもらっている。理事会を開催するだけでなく、全国に発信していこうというのが一つの提案である。

## 2) 畦元議員付自民党入党キャンペーンについて (芳士戸理事長)

安倍前首相、二階議員、加藤議員、山口選対長のところへ行かせていただいた。畦元議員のアピールできる場所はやはり黨員数で 7 位に入ったところである。皆さんの努力のおかげである。4,000 人を超えて 5,000 人目指しますとアピールするが、ひと県で 10 人でも 20 人でもノルマを決めてやっていただきたい。8 月末までに署名を集めて、黨員も 4,000 人超えそうですと報告できれば大きい。畦元議員が比例で上に行けなくて、畦元議員が落選することがあったらみんな自民党から離れますということを実際にアピールすべきだと思う。安倍前首相に対して、“畦元議員が国会議員になるまでなかなかひとつになれなかったこと、畦元議員が国会にて活躍してくれるお陰で診療放射線技師一人一人がやっと目覚めたこと、畦元議員が政権政党である自民党議員であることが色々我々にとって優位になるということがわかったので皆自民黨員になったのだ”ということをお伝えした。8 月中には幹事長、選挙対策本部長安倍議員のところに行けるように、黨員も署名も頑張って集めていただきたい。

## 入党キャンペーンについて (松原監事)

畦元議員自民党黨員数 (都道府県別) のグラフを提示し説明があった。診療放射線技師の畦元議員付自民党は 1,324 名であるが、技師の割合からしてもまだまだ黨員数が少ない。各県でプラス 10 名、20 名のキャンペーンをやらしてもらえないか。各都道府県 20 名プラスされることで 1,000 名上乗せできる。時間勝負であり、7 月中 8 月中に成果を出すことによって畦元議員の比例の順位を上げることができるのではないか。各支部で応援していき、全国に広めてはどうか。ぜひ協力をお願いしたい。

吉川理事：黨員名簿は各支部に下すことは可能か。

木暮理事：都道府県別にはお渡しすることは可能である。

今回承認が得られたら、支部連盟長宛に今回のグラフとキャンペーンのお願いをしようと思っている。連盟長から名簿が欲しいということがあれば各都道府県別に PW 付きの情報をお渡しする流れで考えている。

白木副理事長：去年 12 月に一気に入党していただいた方々が 12 月でいったん年会費が

終わるので対象の方には、はがきと領収書を郵送して継続お願いしますという形で発送する準備をしている。署名については、書式を木暮理事から各支部へ配信して各支部から紙に直接書いてもらって郵送してもらいたいイメージでよろしいか。

木暮理事：改めてメールで案内する。

松原監事：捺印必要であるか。

畦元参与：署名があればよい。

－審議 2 について承認された。

### 3) 連盟年会費について

木暮理事：現状 1 口 2,000 円で 1 口以上というのが連盟の年会費となっているが、会員の方から異議が出たため、改めて年間費に関しては一律 2,000 円ということでご審議いただきたい。2,000 円以上に関してはすべて寄付という形にすることをお願いしたい。

中村理事：先日の福岡県の学術大会のところで連盟のブースを作って入会促進の働きかけを行ったが、1 口 2,000 円以上という年会費が分かりづらいと、年会費に何口っていうのがあるのか等質問があった。やはり年会費と寄付というのは別ではないかということでご提案させて頂いた。

白木副理事長：投票システムにて 100%の賛成が得られた。

－審議 3 について承認された。

木暮理事：現在 H P では連盟入会も一口以上となっているため改正したいと思う。

### 4) 連盟会員・決済管理システムの導入について

木暮理事：現在の問題点として、エクセルで会員情報を管理している。

新入会情報の手作業による追加、会員への振り込みの用紙を廃止したことに伴う年会費の納入の低迷がある。また、手作業による会費の納入状況の把握、会員への情報が発信できてないという問題がある。今回 2 社ヒアリングをした。契約すれば会員の管理、新規会員の登録も可能になる。また会員へのメール送信も可能となり年会費の支払いが多様化される。今はゆうちょを使用しているが、コンビニ、クレジット、金融機関など多様化される。かつ、決済管理の方でもできるので、未納者が分かり催促のメールも出せるようになる。これからの連盟の業務拡大だとか、将来を見据えた運営を考えるとぜひ導入したほうがいいと思っている。

ーシクミネットについて

初期導入費用は約 26 万円。年間のランニングコストは 48 万円となる。シクミネットの方は埼玉県理学療法連盟の方も使用している。サービスが充実していて信頼できる企業だと思う。

ー会員ペイについて

初期導入費用は無料。年間のランニングコストは 7 万円になる。ただし既存の約 900 名の会員のデータをデータベースに手作業で入力する作業が出てくる。安い分だけ定着させるまで労力と時間を要し、ちょっと不安なところもある。

事務局からはこういったシステムを導入したいということ、シクミネットもしくは会員ペイということでご提案させていただいた。

芳士戸理事長：木暮理事ひとりで連盟の作業をしてもらっているのが現状、業務を減らしたいというのが導入の一つの理由で、また会員の皆さんにきちんと情報を発信できるのではないかという意味ではランニングコストはかかるがシクミネットのほうがいいのではないかと思っている。

上田理事：データの引継ぎ移行など確認必要。

松原監事：998 名の中で今年度の会費を納入されているのは 46 件しかない。納入のお知らせができていない状態。今後引継ぎのためにも誰でもうまくできるようなシステムを導入した方が良い。コストはかかると思うが、導入によっていろいろなメリットはありそうなのでぜひ導入してよいのではないか。

白木副理事長：投票にてシクミネット：86% 会員ペイ：0% 保留：14%

86%シクミネットで賛成いただいたのでシクミネットで進めていきたい。

ー審議 3 についてシクミネットを導入することで承認された。

### 3. その他

白木副理事長：秋の選挙を控えて具体的な戦略をここで確認したい。

入党キャンペーン、それ以外何か我々やるべき事はないか。

畦元参与：入党をお願いしたいということと、署名の両方をお願いしたい。

10 か所ほど（山口島根広島栃木など）議員の先生と支部長の方々のご都合に合わせて、各事務所へ挨拶をしに行きたい。これは 8 月 9 月までには済ませようと思っている。

白木副理事長：ぜひ当該の支部長に行っていただければ更に支部も活性化するのではないか。

富田理事：埼玉の会報誌連盟の活動を掲載したいが掲載するにあたって理事会の承認は



必要か。

白木副理事長：連盟ニュースが HP からダウンロードできるのでそのまま載せている。

#### 4. 今後の予定

##### 1) 第3回理事会

10月2日(土) JART 理事会終了後

##### 2) 畦元議員パーティーについて

8月24日予定されていたパーティーは中止となった、今後調整中。

#### 5. 理事会総括 (丹羽副理事長)

丹羽副理事長から 2021 年度第2回理事会の総括を述べられた。

秋に向けて選挙があるということで大変厳しい状況の報告もあったが、情報システム導入の賛同が得られたので連盟会との情報共有を図り、さらに多くの方に情報が伝わる努力をしなければいけない。畦元議員付自民党员 4,000 名以上と 10 万人以上の署名を集め、ぜひ畦元議員を後押しできる技師連盟になっていけばと思っている。

最後に熱海市土砂災害で被災された方々へのお見舞いの言葉を述べられた。

以上